

第40号

2016年9月発行

【発行元】  
港区芝地区総合支所協働推進課  
発行部数30,000部

# 芝地区地域情報誌



港区設70周年

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、さまざまな行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。

## 芝の出来事

### 御成門中学校とスウェーデンの素敵な交流



芝地区唯一の区立中学校である御成門中学校とスウェーデン大使館との間に、ゆるやかで素敵な交流が生まれています。

5月、御成門中学校の生徒が駐日スウェーデン大使マグヌス・ローバックさんを表敬訪問したときの様子を、大使自身がツイッターで、こう紹介しています。

「5月30日、御成門中学校の生徒さんの代表者らが表敬訪問。生徒さんたちは大使にスウェーデンの伝統行事や食文化、教育制度など様々な質問を熱心していました」とあります。そして「御成門中学校は2020年に開催されるオリンピックの数多くの出場国の中からスウェーデンを応援国に選びました。2020年までにスウェーデン大使館は御成門中学校と交流を深めていくこととなります。これからも未来を担う若きサポーターたちとの交流がとても楽しみです!」。(ツイッターからの引用、要約)

この興味深い交流を大使館の広報文化担当官のアダム・バイエさんは、「御成門中学校から、今回の交流のお話もちかけいただきました。大使館としては児童演劇を通して、お返しをしていきたいと



広報文化担当官のアダム・バイエさん

と思っています」と話してくれました。バイエさんは、「いつも子どもの目線」と若い方々との交流を大事にしているそうです。



パーント・ヘーグルンド、レーナ・リンデル演劇講師と生徒たち

そして今度はスウェーデン大使館が、御成門中学校で児童演劇のワークショップを行うというので、さっそく、7月14日に行われた「ティーンエイジャーのための演劇ワークショップ」取材してきました。

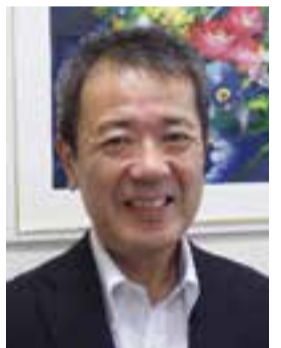
当日は21名の生徒が集い、そのうちの半数はダンス部の1年生。表現豊かに参加していました。参加者全員が集中力と協調性、安心感を育み合い、お互いをよりよく知り合えるようにと、2名のスウェーデン演劇講師が熱意をもって指導



ワークショップの様子

していました。それは、スウェーデンで演劇を学んだことがある人なら誰もが知っているという基本的な児童演劇手法で、それらを順番に教えてもらっていました。交流を楽しんでいる生徒たちは、全員が元気いっぱい、満面の笑顔となっています!身体と頭を使いながら、みんなと一緒に愉しく遊ぶことができる納得のワークショップでした。

最後に校長先生の話をお伺いすることができました。「昨年、スウェーデン児童文学のパネル展開催から始まり、スウェーデンとの交流に新しい可能性が見え始めました。これからは続いていく、ゆるやかな交流をきっかけに、グローバルな視点を持つとする子どもたちが今後も増えていけば、そして、地元のあたたかさも感じとりながら、日本人としての自覚と誇りを胸に、おもてなしの心を持って、全国に誇れる、御成門中学校を作っていきたい!そう願っています」。



御成門中学校 石鍋浩校長

平成30年(2018)は、日本とスウェーデンの国交150周年です。東京オリンピック・パラリンピックに向けて、これからも御成門中学校とスウェーデンとの交流に目が離せません。

【文・取材■田岡恵美 写真■米原剛、スウェーデン大使館広報部】

#### Information

港区立御成門中学校  
西新橋3-25-30  
TEL 03-3436-3551  
<http://onarimon-js.minato-ky.ed.jp/>

スウェーデン大使館  
六本木1-10-3-100  
TEL 03-5562-5050(代表)  
<http://www.swedenabroad.com/ja-JP/Embassies/Tokyo/>



御成門中学校の生徒会代表とマグヌス・ローバック駐日大使との記念写真



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 東京都済生会  
**東京都済生会中央病院**

第2回

【済生会の基本方針】

1: 地域の中核病院として、医療機関、福祉施設などの提携を密にします 2: 個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた医療を提供します 3: 職員が働きがいとプライドを持って、質の高いチーム医療を提供します 4: 医療従事者としての教育と臨床医学の発展に貢献します 5: 保健・医療・福祉に恵まれない人々への支援に取り組みます

— 済生会の設立以来、連綿と流れる慈愛と博愛の精神の伝統が、職員たちの情熱によって今も受け継がれています。 —

その1 東京都済生会 中央病院 附属乳児院



規則正しい毎日の生活

起床 オムツ交換 梳洗 探乳 排泄 更衣	朝食 牛乳 おあそび 朝の体操 戸外おそび	離乳食 昼食 はみがき 午睡 水分補給	おやつ 入浴 夕食 はみがき 就寝
-------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	-------------------------------

院の一日  
3才児までの大切な時期を一般家庭以上の配慮で養育されています。

※食事についての配慮は献立会議・食育委員会を開いて、栄養士と一緒に検討して、季節によってメニューやおやつを変更・改善します。また、各種食物アレルギーに適切に対応して安全な食事を提供しています。

年間の行事

1月\_初詣 2月\_節分 3月\_雛祭り 4月\_お花見 5月\_端午の節句 7月\_七夕・すいか割り 8月\_プール 9月\_お月見・親子体操会 10月\_遠足 11月\_七五三 12月\_クリスマス 毎月1回\_お誕生日会・パースデイ個別保育

※ 2才以上の個別の院外保育として児童館や羽田空港や動物園などに訪問見学をする。

健康管理

小児科医が回診し、夜間は電話オンコールで対応します。又定期的な予防接種・定期健診・全身測定・発達調査・歯の発生調査を実施します。地域の子育て支援として電話での育児相談を受け付けています。その後の「自分探し」の時のアルバムが用意されています。



乳児院 看護部長代理 小泉菜穂子さん

市中病院がつくった都内26番目の  
その2 「救命救急センター」

近々、済生会中央病院の救急車も活躍予定です

港区内に初めて救急救命センターが出来た!!平成24年12月都内26番目の認可設立だ。それまでは患者搬送先を都内西側の地区に頼らざるを得ず、東側にセンターの数が足りない状況だった。済生会中央病院では以前から救命救急医療を手掛けるべく取組んで来たが、平成23年4月に着任した救急診療科の関根和彦部長を中心に救命救急センターの設立準備に奔走して、3次救急指定医療機関として認可されるべく平成24年7月に関根氏をセンター長に救命救急センターを設立し、12月1日に東京都より救命救急センターとして正式に認可された。

草創期の奮闘記



関根部長

ここで関根部長に設立まで大変な労力を振り返って頂いた。まず医師人材確保、協力病院との後方連携体制構築、診療器具、薬剤・検査設備等の整備、各部門と綿密に打ち合わせ、運営指針の作成などすべての職種スタッフと共に奮闘した。①急務-医師確保:院内に救命救急医療経験ある医師がなく、外部の専門医と6人でスタート。②人材危機:医師の人事異動、入院、妊娠・出産などの事情から、医師3人になった時は、24時間体制を維持することが困難な状況となり恩師の堀連浩教授(慶大医学部救急医学教室)に、非常勤当直医として助けて頂いた。③院内医師の協力:重症患者さんの入院管理を、院内の医師たちが万全の対応をした。「総力を挙げて救命救急医療を立ち上げる」というのは、済生会中央病院が「縦割りではなく垣根を越えて協力する」という素晴らしい伝統を持っていたから、と言える。④最も大変だった事:看護師、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職などのスタッフは、いずれも未経験の分野なので、診たこともない症例、行った事のない検査、使ったこともない薬などなど。スタッフとあらゆる事態を想定して、細部まで詰めて確認しあい、診療全体がうまく流れるよう腐心した。

NEWS

平成27年 救急認定看護師第1号が済生会中央病院で誕生!

看護師は医師の指示により患者さんをずっと看護し続けなければならない。想像以上の苦勞を考えて、病棟の精鋭を配置してもらったが、重度多発外傷、心肺停止など多種多様な重症者など、これまで診たことも聞いたこともない患者さんが運ばれてくる。そこで看護師は勉強会を繰り返し行うことで、救命救急の医学知識を吸収し蓄積してきた。そして次第にやりがいを感じるようになっていった。「この仕事はやりがいもあるし、楽しいです」と話す。

都内最高の救命応需率によりER(救急外来)部門が東京消防庁から表彰(平成25年)

そのうち、都内15の救命救急センターが断った小児頭部外傷の初期診療を受け入れ、他院との連携により救命につなげたことで高い評価を受けたこともあった。また、救命集中治療部門で、心肺停止入院の患者さんの社会復帰率が良好で、特に心原性心肺停止入院の患者さんの社会復帰率は、57人中29人と良好だった。

来年度(平成29年) 完成する新主棟で、救急医療のさらなる拡充を目指す!

①増床 1.5倍へ! (ER 8床から13床へ、救命病棟 22床から30床へ)②救急外科部門では熱傷外傷の専門治療センターと救急外科センターを設立して、外傷・熱傷・集中治療それぞれに専門医を擁する、特色ある救命救急センターをめざしている。③このために各部門の人材確保と若手中堅医師、看護師、関係職種への教育や、病院間の連携強化を図る。

基礎・臨床研究の充実を図る

カリフォルニア大学、ハーバード大学との共同研究を行い、また筑波大学物質材料研究機構との共同開発もっている。

院の始まりとその後の沿革

大正12年の関東大震災で被災した母子の救護のため、芝公園内にバラックの応急診療施設で事業を開始、翌13年1月済生会赤羽乳児院を定員105名で開院しました。昭和24年、児童福祉施設、済生会乳児院として認可される。昭和25年に病院附属乳児院と改称して現在にいたっています。

院の「養育の基本方針」

- 1 子供が安心してできる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
- 2 愛着関係を大切にして情緒豊かな子どもに育てます。
- 3 感動や成功体験を通して自立心を養っていきます。
- 4 親子関係を大事にしなが、成長の喜びを共有し親子関係を大切にしなが養育します。
- 5 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。

乳児院を現場で支えている人々

保育士20名 看護師9名 調理師等5名 栄養士・臨床心理士・里親支援専門相談員・家庭支援専門相談員 それに事務・看護師長・医師(兼) 各1名と施設長とで、計41名※80名以上のボランティアの方々には、保育補助・縫い物・庭の手入れ・お誕生会などにご協力いただいています。

当乳児院は、児童福祉法により認可を受けて、「いろいろな事情」から家庭での養育が困難な乳幼児を、児童相談所の判断により、必要な期間養育します



乳児院長 山中 一郎さん

Information

東京都済生会中央病院 附属乳児院  
 三田1-4-17 TEL:03-3451-8211 (内線) 3151

その3 「なでしこプラン」事業

「東京都立民生病院」(昭和28年開設)は、生活保護法による医療扶助受給者のみを対象としたが、平成14年の廃院を受けて隣接する済生会が、その土地を取得し機能を継承した。ほとんどが救急・福祉事務所の要請による患者で、急性から慢性期まで年間1万7230人、平均在院日数33.6日(平成26年)になる。済生会は無料低額診療(生活保護者・低所得者)の対象を広げて、少額の国民年金だけで生活する高齢者、所得が基準より多少高くても生活保護受けられない人、DV被害者、ホームレス、更生保護施設で社会復帰を目指している人々へと幅広く医療と福祉のサービスを提供する「なでしこプラン」をスタートした。3年間(平成22-24年)で31万6千人に、無料健診やインフルエンザワクチン接種などを行った。平成25年度から始まった中期事業計画では、延べ15万人の支援を目標にしている。さらに今後、薬物中毒者への医療・健診事業の取組みを考えている。

その4 高齢者ケア・港区との連携

高齢化社会の重要課題、高齢者ケアへの取組みを加速する港区の取組みに協力して、昭和63年港区立特別養護老人ホーム「白金の森」を受託。平成3年には港区立南麻布高齢者在宅サービスセンターの受託経営。平成8年に港区立特別養護老人ホーム「港南の郷」(他3施設)の受託経営を開始した。ここでは別に、高齢者相談センター(地域包括支援センター)を有し、ショートステイやデイサービスを行い、また地域の高齢者や、介護をしている家族への総合的な相談や支援を行っている。

その5 済生会 三田訪問看護ステーション

済生会三田訪問看護ステーションが誕生 <平成9年2月>

済生会は大正2~3年頃から、医師・看護婦などで組織した巡回看護班が下町一帯を訪問した。これが現在の日本の訪問看護の基礎となっている。平成2年10月に開設した訪問介護室が移行して済生会三田訪問看護ステーションとして生まれ変わった。初代所長の藤原泰子氏は開設当初を振り返って、病院の検診車の車庫を改造して訪問看護ステーションとしたこと、当初中央病院の医師からの紹介に始まり、段々と区内の開業医の依頼も増えて、その後は地域の在宅介護支援センター・施設の相談員や利用者さんからの紹介などで増えていったという。介護保険制度発足後はケアマネジャーの紹介が増えていった。2年目には、在宅診療にもリハビリが重要だと考え、中央病院に理学療法士の派遣を依頼し、訪問看護の中に位置づけた。訪問時の接遇教育は徹底して行ったこと、また待つ姿勢ではなく活動内容を積極的に地域に伝える広報活動も行った。「医師発行の訪問看護指示書」は訪問看護の実施に必須だ。そのため、まず済生会中央病院内で医師への説明会による広報活動で内科、外科、看護師、職員全体の会議に働きかけ、受付にパンフレットを置き、訪問看護ご利用のご案内を行った。初年度2,509件、平成17年には年間6,725件にのぼった活動内容を地域に伝える広報活動が重要になる。なお、利用者数は、平成25年度で、介護保険・医療保険合わせて908人であった。



かひ所長 坪所長

Information

済生会三田訪問看護ステーション 三田1-4-17  
 済生会中央病院内 03-3451-8936

【文】柴崎賢一、柴崎郁子 写真【米原剛】

気になる 三代目 伊藤古美術店

— 根付に魅せられて —

根付とは?

皆さんは「根付」をご存じでしょうか?テレビ番組「水戸黄門」で黄門様が最後に出す印籠に付いている「飾り」のようなもの。あれが根付です。手の中に納まる程の小さな彫刻品で、煙草入れや印籠などを紐で帯から吊るす時の留め具のことです。江戸期に作られた「古根付」と現代に作られた「現代根付」があります。



煙草入れに付けた根付

根付の歴史

江戸時代の初期には実用性のある単純なデザインであったものが、中期以降江戸文化が華やかになると装飾性が加味されたものとなり、武士や金持ちの商人の間で流行しました。なかには、根付一つに家一軒が建つような大金を払ったということもあったそうです。細かい彫刻が施され、実用品というよりは美術品として、愛好家の収集の対象となっていきました。

根付に魅せられて

根付の魅力にとりつかれ、専門に扱っている古美術商が東京メトロ日比谷線「神谷町」駅の交差点近くにある「伊藤古美術店」です。店主の伊藤曉男さんは3代目。「門前の小僧」で美術品の真贋は自然と身についていったそうです。初代は伊勢から上京し、愛宕下の美術商で奉公したのち独立。はた師(店舗を構えない古美術商のこと)として巴町(今の虎ノ門三丁目)で商いをしていました。今の場所に店師(店舗を構える古美術商のこと)として店舗を出したのは2代目のお父さま。戦争中は一時期疎開したものの、ずっとこの地で商売を営み、40年ほど前に3代目に代替わりしました。

芝地区老舗の会 「芝百年会」創設について

再開発など新しいまちへの変化、人口減少、観光が脚光を浴びる経済の変化、IT技術の進歩によって、考え方にも新しい波が押し寄せ、明治維新に匹敵するような変化の時代を迎えています。昨今の老舗ブームを見ると、変化の時には「温故知新」、古きことを学び、新しいことに取り組みれば、以って師となりうることを知っているようです。芝地区内には、創業百年を越える老舗や事



さまざまな彫刻が施された根付

桜田通りに古美術商が多かったワケ

「桜田通り」には、明治の頃から古美術商が多く集まり骨董通りといわれていましたが、今では数軒を残すのみとなっています。骨董屋が同じ所に集まるのは、店によって扱う商品(種類)が違うので、競合することがないからだそうです。「この辺りはお寺や武家屋敷が多く、明治時代には外国の居留者も多かったので、西洋式のアンティークや廃業した御家人の刀、家財道具が多く持ち込まれたと父から聞いたことがあります」と店主。さらに、皇居に向かって左側(西側)に古美術店が多いのは、正面からの西日を選けるためと、興味深い話も伺えました。

詳しい根付のはなし

根付の話に戻しましょう。明治時代に入ると印籠や煙草入れは姿を消し、それに伴い根付の需要もなくなりました。日本人の記憶からは忘れられてしまったのです。しかし昭和に入ると、アメリカやヨーロッパでその価値が認められ、数多くの根付が海を渡って行きました。根付の価値を見出したのは外国人でした。昭和の終わり頃まではお客の8割が外国人であったそうですが、今では実用性が少なくアートとして蒐集家は世界各地にいるとのこと。不粋な話ではありますが、1つ数千円から数千万円になる品もあるといえます。

材質は木製、象牙、鹿角、焼物、ガラス、金属と多種多様。置物ではないために紐を通す穴があり、四方八方どこから見ても裏面がない、つまり360度全面に彫刻が施されています。手に持った時に手触りがよいことが条件で、本来、帯に引っ掛ける留め具としての役割なので「ひっかけり」のないものが目利きのポイントだそうです。

【文・取材】伊藤早苗

●参考文献

「港区私と町の物語上巻」港区産業・地域振興支援部地域振興課

Information

伊藤古美術店  
 虎ノ門5丁目2-5  
 TEL 03-3433-6064

め、未来への地域の発展に貢献していきたいとのことです。

【文】森岡 写真【早川紀】

Information

芝百年会事務局 中沢乳業株式会社 企画部 当銘  
 TEL 03-3503-7156



芝百年会 創設総会 あたご小西 小西悦郎会長就任挨拶

# みつけた！ 私の好きな芝！

## 世界貿易センタービルディング 展望台シーサイド・トップ



芝公園方面(西回廊側)

さかのぼること高度経済成長期にある昭和45年(1970)、東京のひとつのシンボルとして、浜松町に世界貿易センタービルディングは誕生しました。

東京の陸・海・空の主要拠点として機能してきた浜松町に立地する、世界貿易センタービルディングの地上152m、40階にある展望台「シーサイド・トップ」。東西南北360度のパノラマ



『東京港の展望』のミニチュア模型

は、大東京の景色をまるごと楽しませてくれます。

株式会社世界貿易センタービルディングの管理部・専任部長である渋沢恒男さんに、芝公園方面にあたる展望台の西回廊側を案内していただきました。

開放感あふれる窓一面には、芝の景色が広がります。通称・軍艦ビル(芝パークビル)、芝大神宮、港区役所、増上寺、大門、大門交差点、三田国際ビル、慶應義塾大学、そして、高速道路の下の屋形船…などなど。本当に多くの芝のスポットを見ることが出来ます。また芝地区の魅力は、とても緑が多いこと。高みの花見見物や紅葉シーズンなど、季節により変化する彩りは格別だそうです。

ご近所の区立芝小学校の135周年記念で、児童を社会科見学として招待したことや、昭和の頃には、小学生たちがお昼休憩時間に、展望台用のベンチをテーブル代わりに、仲良く横一列に並んで楽しげに食事する微笑ましい光景など、かわいらしい来場者のエピソードは尽きないといえます。

「港区の観光スポットは、エリアに点在しているので、いろいろと歩きながら訪れることができます。芝のまちなみ、水上から、車窓から、そしてもちろんこの展望台からなど、さまざまな目線で自由に楽しんでいただきたいです。日々眺めている景色さえも、移り行く季節や



展望回廊のソファ



展望台からの眺望

時間の中で、その時々表情を見せてくれます。例えば大雨の後に晴れ間が射すと、ここからは丸い虹が見えるんですよ」と渋沢さん。

ぜひ皆さんも、「展望台シーサイド・トップ」から、「私の好きな芝」を見つけてみてください。

【文・取材・写真■桑原庸嘉子】

### Information

世界貿易センタービルディング  
浜松町2-4-1  
TEL03-3435-6026  
JR・東京モノレール「浜松町」駅直結、都営地下鉄浅草線/大江戸線「大門」駅B3出口直結  
<展望台>  
営業時間 10:00~20:30(受付時間20:00)  
休み 12月30日、31日、ビル全館休館日  
料金 大人~高校生620円、小・中学生360円、幼児260円  
<http://www.wtcblidg.co.jp/wtcb/>



室内は空調管理が徹底され、常時23℃を保ち、まるで春のような快適環境



園芸のベテランスタッフが見守り、適切なアドバイスをしてくれる



通りの角地でひとときわ日につく外観

## 気になる 立ち寄り処

### たなばたけ すくすく マンション型のレンタル水耕菜園

国道1号線の浜松町二丁目交差点からJR寄りに1本入った角。ガラス越しにグリーンの美しい植物が、こんもりと茂る一室が目を引く。一瞬何だろうと思えるが、よく見るとハーブや野菜が棚にあふれて植えられている。

それは土ではなく、水で育てる水耕栽培のレンタル菜園だ。

鹿島建設の子会社で、ビル管理を業務とする鹿島建物総合管理株式会社が経営管理している。

都市開発によりオフィス街へと変貌している浜松町界隈だが、「街づくりの一環としてビルの空き室に緑いっぱい空間スペースを演出し

て、気軽に立ち寄れるコミュニティ・スペースを展開していきたいのです。その緑は、一般の人たちに好きな植物を植えてもらう。自分の庭のような意識で楽しんでほしいのです」と、責任者の高橋一樹さん。その思いは熱い。

大企業が本業とは全く違う分野の事業を展開している昨今、鹿島建物総合管理株式会社も約2年間の調査・研究期間を経て、ノウハウを蓄積し、個人向けに水耕菜園のレンタルを始めた。

1区画を「ベッド」といい、33cm×56cm×12.5cmの黒いトレイが72箱。それが棚に3段に並んで、まるでマンションのよう。1ベッドで最大21株が植えられるそうだ。

水耕栽培は水に肥料を溶かした養液で育てる。土と違って生育が早く、手間ひまかからず、害虫の心配がない。無農薬だから安心・安全なのだ。こちらで使っている養液は、店舗側で適切に調整・管理され、エグミや苦味が少なく食べやすい野菜を育てることができる。

借主は近隣に勤めているサラリーマン、OLが多く、その7割は男性とか。店から57種類の

種が提供されるが、初心者にはリーフレタスやサンチュ、みず菜、春菊などの手軽に栽培できる葉物類が中心。約1カ月で収穫できる。

仕事が終わるとこちらに寄って成長具合を見るのが楽しみで、収穫の時は喜びもひとしお、情が出て愛おしくさえ感じるのだそう。人気が高く、今はキャンセル待ちの状況だ。

また、地元住民のために、夏休みの1か月間、子どもたちに種から植えて栽培研究を教えるサービスを提供している。

やがて貿易センタービルが取り壊され、巨大なビルが建つと浜松町の風景が一変する。ビル群の一角にグリーンの癒し空間があるのは必要不可欠なこと。その先駆者となる「すくすく」のパイロット事業に期待は大きい。

【文・取材■千葉みな子 写真■森田友子】

### Information

たなばたけ すくすく  
浜松町2-3-24 若松ビル1階  
TEL 03-6809-1507  
<https://www.kajima-tatemono.com/sukusuku/>

## 芝地区 いきいき プラザ イベント編

今回は、最近の芝地区3館で開催されたイベントをご紹介します。

### 5月28日 芝の魅力発見講座 (三田2階集会室C)



座学形式で江戸庶民の暮らしと芝地区について学びました。

### 6月18日 西アフリカ・ガーナ共和国 「心音」があなたを新しい音楽と 舞踏の世界へ (神明6階体育館)



大好評のリズム入門講座後に行われたコンサート。講座参加者も出演し、ガーナ文化に触れました。

### 6月25日 いきいきバンドフェス (神明6階体育館)



今年で4回目の開催。区内在住・在勤・在学バンド、6団体が、会場いっぱいに広がる音楽を楽しみました。

### 7月2日 あみ採れたて野菜市 (神明1階エントランス)



茨城県阿見町産のあみ採れたて野菜市を開催。体育館ではスイカ割りや種飛ばし大会を行い、子どもから高齢者までそろって大はしゃぎでした。

### 7月11日 神明・虎ノ門合同バスハイク (茨城県阿見町)



緑豊かな茨城県阿見町へ。畑仕事や漬物の体験をしました。地元の野菜や果物をふんだんに使った昼食は美味でした。

### 7月17日 三田まつり



1階では金魚釣り、射的などの縁日ゲーム、脳トレゲーム。2階では吹き矢、折り紙、臨床美術、アロマハンドマッサージなど。最後は敬老室で盆踊りと盛り上がり、いきいきプラザを丸ごと楽しめる1日でした。

### 8月6日 とらトピアの夏祭り

毎年8月に開催する年に一度の館祭り。教室の成果発表やおいしい食事を用意されます。

### 9月10日 プラザ神明 フェスティバル

毎年9月に開催される大イベント。区内で活躍される団体が一緒に集い、さまざまな交流・体験ができます。

### 5月24日 合同卓球大会 (神明6階体育館)



普段の練習の成果を試すとき。決勝戦は白熱しました。

### 6月11日 タイムトラベル 江戸城外濠を巡る旅



区内の新たな魅力を発見、観察するまち歩き企画です。

### 6月24日 カラオケ大会 (虎ノ門2階敬老室)



皆さん素敵な歌声を披露。スタッフの出し物も好評でした。

### 6月30日 シャンソンフランセーズ・ カフェコンサート (神明1階カフェ)



仏原語のシャンソン教室のメンバーも出演、拍手喝采。その後、リリ・レイ講師の美しく正しいフランス語のシャンソンを堪能しました。

### 歌声喫茶 (三田2階カフェ)



また同じ頃、三田2階カフェでは歌声喫茶を開催しました。七夕にちなんだ歌や懐かしい歌を一緒に歌って楽しみました。当日限定メニューのクリームソーダも完売しました。

### 7月16日 ラ・ジェンマ サマーコンサート (神明6階ホール)



ラジェンマは港区区内で活躍する音楽グループ。オペラ名曲の数々をご披露いただきました。

### Information

三田いきいきプラザ: 芝4-1-17 TEL 03-3452-9421  
神明いきいきプラザ(プラザ神明): 浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500  
虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア): 虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941



【文・写真■米原剛】

●写真・資料提供  
指定管理者:  
百葉の会・東急コミュニティ共同事業体



# 芝にある風景

## プリンス芝公園

芝増上寺の隣にある区立芝公園は空が高く、東京タワーもよく眺めることができます。バラの花が咲き誇る頃をはじめ、時期によっていろいろな草花を鑑賞することが可能。私の好きな場所の一つで、訪れた時は写真スポットを探しながら散歩します。その中で、目に飛び込んできた衝撃的な美しさに一目惚れをした場所がありました。

芝公園隣にある旧台徳院霊廟惣門を通り抜け、階段を上へ上へと進むと、手入れの行き届いたグリーンが広がる一面に出ます。ザ・プリンス パークタワー東京の屋外庭園である「プリンス芝公園」です。かつてこの場所にはボウリングセンターやゴルフ場、プールがあり、私もボウリングブーム時は予約をして順番待ちで楽しんだことがあります。

そこにピンクや白のバラがあちこちに咲き、青い空と豊かなグリーン、そして赤い東京タワーのコントラストがきれいな景色が広がっていたのです。少し園を歩いて構図を検討していると、ピンクのバラでアクセントをつけているかのような白い小屋を発見。全体を見渡すと、タワー後方に六本木ヒルズが見え、自然と新旧の建物が一枚に取まるベストスポットでした。ここは、空が広く一望できるので、冬には星空を観察するのもよいと思います。



絵・文 大野正晴さん  
昭和26年(1951)生まれ。38年間、新橋タカトク金物株式会社に勤務。「新橋で生まれ育ちましたので、特に港区、芝地区には愛着を持っています。この地域には歴史的な名跡が多いうえに、新名所もあり、興味深いエリアです。これからも芝地区の“心”を感じる“素敵な風景を描いていきたい”と思います。」



## 旧町名由来板 をご存知ですか？

大正 10年(1921)発行の「東京市芝区図」(東京通信局発行)を参照すると、芝地区には、当時74の町名がありました。その後、住居表示実施などによる町名変更があり、現在使われている町名になりました。74の旧町名のうち、現在74の町名の由来を記した「旧町名由来板」を芝地区内20カ所に設置しています。

今回は「三田二丁目児童遊園」(芝地区MAP図)に設置されている旧町名由来板から、3つの町名を紹介します。



### 三田

平安時代の御田郷の名前に由来します。三田は古くから田園として開けていたと考えられており、一説には、古代禁中に年貢を奉っていたため、「御田」と称されたと伝えられています。御の字を三に改めた年代は定かではありませんが、戦国時代には「三田」となっていたようです。

徳川家康入国(天正 18年、1590)以来、虎ノ門より品川宿までの往還のため、町人の往来がしだいに盛んになり、寛文年間(1661~1673)には町奉行支配となって、三田の諸町が創設されました。

### 赤羽町

江戸時代初期は赤羽川(古川)の灌漑を受けた田園でしたが、明暦(1665~1658)以来、筑後久留米藩有馬氏の屋敷となり、明治4年(1871)に工部省所属製作所の敷地となりました。明治 5年(1872)、赤羽橋の傍にあることから「赤羽町」と名づけられました。

「赤羽」の名は麻布飯倉あたりを土器町と称していたころ、赤羽橋付近は土器職人が多数住居していたので、赤埴(赤い素焼の人形)と

呼ばれ、これが転じて「赤羽」となったと伝えられています。

江戸の力士小野川喜三郎が、火の見櫓の上で怪猫を退治したという伝説「有馬の猫騒動」で、名高い有馬屋敷のあったところ。

### 三田功運町

寛永17年(1640)三田聖坂に、それまで江戸城近くの桜田にあった功運寺が移り(現三田中学校のあたり)、門前町となったことに由来しています。芝方面から三田台に続く細長い聖坂は、一説に高野聖が開いたといわれています。

明治2年(1869)、三田功運寺門前は、「三田功運町」と改称されました。町名の由来となった功運寺は、大正11年(1922)に現在の中野区へ移転しましたが、町名はそのまま残りました。

**Information**  
今回紹介した旧町名由来板の設置場所  
三田二丁目児童遊園  
港区三田2-10-7

## 町会・自治会トピックス

### 芝西応寺町会「マチコミサロン」に参加しました

6月18日(土)、梅雨の晴れ間の日、芝商店街の一角で行われた「芝西応寺町会マチコミサロン」を訪れました。地場として江戸時代からにぎやかな市店を持つ芝西応寺町の伝統・文化を知り、世代間・地域内交流ができるコミュニケーションの場として催されました。この事業の経費は、東京都の「地域の底力再生事業助成」を活用しています。

会場では、地域住民の方がかつての町の様子を撮影した8ミリ映像の上映や古地図、写真パネルの展示があり、

それを見ながら年長の住民による説明をお聞きしたり、まちに住み続けている方や新しく住民になった方たちが語り合うひとときになりました。来場者には、参加賞の町会名入りオリジナルクリアファイルが配られました。

芝西応寺町会の河村和美会長によると、来場者の2割が町会区域内の新しいマンションにお住まいだそうです。また「参加してくれた方々が喜んでくれたのが、何よりも嬉しい。これからも年2回程度の開催を継続し、『顔見知りのお隣さん』を地道に増やしてい



会場の賑わいに通行人も足を止めて見ていく場面も「きたい」と語っていただきました。

参加してみて感じたのは、まちを知り、そこに住む人の顔が互いに見えること、自然とまちへの愛着が深まるということ。町会の活動は、我がまちをより住みやすく、また住み続けたいと願う、地域住民によるまちづくり活動の一つなのです。

今年度の第2回は、10月15日(土)午後2時から開催の予定です。次回に向けて、まちの古い写真や画像を随時募集中だそうです。お持ちの方は、ゼ

【文・取材・写真】芝地区総合支所協働推進課

**東京都「地域の底力再生事業助成」について**

- 詳細は東京都生活文化局のホームページへ。  
[http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/chiiki\\_tabunka/chiiki\\_katsudo/chiikiriyoku/](http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/chiiki_tabunka/chiiki_katsudo/chiikiriyoku/)
- ご相談・お問い合わせは、芝地区総合支所協働推進課協働推進係へ。  
TEL 03-3578-3126



懐かしい映像の数々に、つい笑みがこぼれます

## 芝次郎ファミリー紹介 “芝代”がデビューしました!

芝地区のキャラクター芝次郎の姉・芝代が、去る6/4(土)に開催された「ふれ愛まつりだ、芝地区!」で、地域にデビューしました。



10人家族の芝家の中で、20才の芝代は芝家三姉妹の一番下。戸板女子短期大学の服飾芸術科2年生です。明るく活発な性格でスポーツと裁縫が得意。これから芝次郎と一緒にまちで活躍したいと張り切っていますので、見かけたら気軽に声をかけてくださいね。



### 港区掲示板

## 「地元商店街購買促進ロゴマーク」 をご活用ください

地元商店街の利用促進を目指して、右記のロゴマークを作成しました。商店街に関する情報誌、イベントのポスターやチラシなどさまざまな場面に表示して、住民の皆さまに地元商店街の存在を再認識していただききっかけにぜひご活用ください。

希望する商店会にはロゴマークデータを提供いたしますので、産業振興課産業振興係へご連絡ください。



問合せ先 産業振興課産業振興係  
TEL: 3578-2556

買い物するなら  
地元の商店街で  
Going shopping?  
Visit our local shopping streets.

総合防災訓練では、起震車による地震体験や煙の中の避難体験、消火体験など様々な訓練が体験できます!

参加費は無料!ご来場の方には記念品を差し上げています。

子どもからお年寄りまでご参加いただけますので、ぜひお気軽にご来場ください!



日時: **10月2日(日)**  
午前  
**9:30~11:30** ※入退場自由です  
会場: **区立芝公園** 港区芝公園4-8-4 ※地図参照  
当日の詳細は、

今年の芝会場はココに注目💡

☀️ 災害時のペット対策

発災時に飼い主とペットが安全・安心に暮らせるように、飼い主が日ごろから行うべき準備や心構えについて講演を行います。

☀️ 防災クイズラリー

景品は大人から子どもまで対象としたものをご用意しています。ぜひ親子そろってご参加ください。

☀️ 子育て家庭向け防災グッズの展示

子育て家庭に必要な備蓄品や、幼児用の非常持ち出し品を展示します。

☀️ 備蓄用食品の試食ブース

長期間保存ができるカレーなどの試食ができます。

MAP



※今年から会場が変わります。ご注意ください!

お知らせ

臨時福祉給付金および障害・遺族基礎年金受給者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)について

消費税率の引上げに伴う負担を軽減する措置として「臨時福祉給付金」を、低所得の障害・遺族基礎年金受給者への支援として「障害・遺族基礎年金受給者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)」を、それぞれ支給します。

対象者及び支給額

臨時福祉給付金	障害・遺族基礎年金受給者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)
<b>対象者</b> 平成28年1月1日時点で港区に住民票があり、平成28年度分の区民税(均等割)が課税されていない方 ※区民税が課税されている方の扶養親族等や生活保護制度の被保護者は対象になりません。	<b>対象者</b> 平成28年度臨時福祉給付金対象者のうち、平成28年5月分の障害基礎年金・遺族基礎年金等を受給している方 ※高齢者向け給付金を受給した方は対象になりません。
<b>支給額</b> 対象者1人につき3000円	<b>支給額</b> 対象者1人につき3万円

\*臨時福祉給付金と障害・遺族基礎年金受給者向け給付金の両方の対象条件に該当する場合は、2つの給付金を併せて支給します。

申請期間

平成28年9月27日(火)~平成29年1月13日(金)  
※対象者には、平成28年9月26日(月)に申請書を発送します。

申請方法

申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添付し、同封の返信用封筒でご返送ください。  
直接提出する場合は、以下の臨時受付窓口にお越しください。  
※受付時間 平日(土・日曜、祝日を除く)午前8時30分~午後5時(水曜日のみ午後7時まで※台場分室は除く)

芝地区総合支所	平成28年9月27日(火)~平成29年1月13日(金)
麻布・赤坂・高輪・芝浦港南地区総合支所及び台場分室	平成28年9月27日(火)~平成28年11月30日(水)

※芝地区総合支所のみ10月1日(土)にも申請受付を行います。

給付金に乗じた振り込め詐欺や個人情報の詐取に注意してください。

問合せ先  
保健福祉支援部 保健福祉課  
臨時福祉給付金担当  
TEL 03-3578-2846

芝地区MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご活用ください。



●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています  
伊藤早苗/菊池弓可/清田和美/桑原庸嘉子/柴崎賢一  
柴崎郁子/田岡恵美/千葉みな子/中川寛之/中島洋  
早川由紀/浜島孝啓/町田明夫/森明/森田友子/米原剛

●今後の発行スケジュールは次の通りです。  
H28.12(第41号)、H29.3(第42号)、  
H29.6(第43号)、H29.9(第44号)  
※各号発行月の20日頃

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1~3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設等で配布しています。

ホームページ

<http://www.city.minato.tokyo.jp/>